

福岡県議会議員 あがた善彦

三期十二年のあゆみ

ご支持戴きました皆様のお陰で、福岡県議会議員三期十二年目を務めさせていただきます。

四期目の挑戦を前に今までの議員活動を振り返り、今後の活動に生かしたいと考えております。ご一読いただきご意見を頂戴できれば幸いです。

◆一期目

得票 1万1904票

故武智市議会議長と多くの皆様のご支援を戴き県議に初当選。

● 農林水産副委員長

● 総務企画委員

◆二期目

得票 1万2821票

● 総務企画委員長

● 厚生環境委員

◆三期目

得票 1万2312票

す。県域を越えた行政課題、河川・空港・鉄道・道路等は今以上に広域での検討が必要です。また国・県・市町村が類似した事業を行うっており、コストや効率面で多くの無駄が発生しています。道州制の実施にはまだ時間がかかりますが、しつかり取り組んでいきます。

● 文教委員

● 地方分権調査特別委員長

● 建築都市委員

● スポーツ議員連盟会長

● 九州・沖縄未来創造会議副会長

● 教育力向上福岡県民会議委員

● 日米友好議員連盟副会長

● 活動内容

【総務】

○ 行政改革

県の人口五百万のうち二百四十万は政令市で財政的には極めて厳しい状況にあり、財政再建は最重要課題です。そこで人件費の見直し・抑制と外郭団体の大幅削減に取り組ま

ました。

○ 道州制

地方のあり方を抜本的に見直す時期に来ていま

す。県域を越えた行政課題、河川・空港・鉄道・道路等は今以上に広域での検討が必要です。また国・県・市町村が類似した事業を行うっており、コストや効率面で多くの無駄が発生しています。道州制の実施にはまだ時間がかかりますが、しつかり取り組んでいきます。

○ 県立病院の民間移管

大幅な累積赤字を抱え、毎年赤字経営であった県立五病院を民間に移管。移管の折衝では民間との人件費格差が大きな問題でしたが無事移管することができました。

○ 農業

一期目の農林水産副委員長就任時はBSEが大流行し、防止対策と補償問題に対応しました。また食の安全は県民にとって重

【教育】

場は実力があり果物や野菜の新品種開発に取り組んでいます。今後も農業が活力を取り戻し発展するように努力を続けます。

十二年間最も力を入れて取り組んできた活動が教育です。社会が良くなるのも悪くなるのも全て人であり、単に学力の向上のための教育ではなく人間形成に役に立つ教育が必要であると考えます。

○ 教師の意識改革

時代には合った教育を行うためには、教える側の情熱と弛まぬ努力が必要です。そこで教師の十年毎の免許更新制度を訴え続け

安倍政権において実現しました。

○ 小・中通学区緩和

通学区域を拡大重複させることにより、学校間に競争が生まれ教育内容に創意工夫がなされると考え主張しています。

○ 学校運営体制見直し

現今の学校の運営は校長一人では困難です。教頭・学年主任・教科主任を管理職に位置付ける事により、教師が教育に専念できる体制の整備を訴え続けています。

○ 教育力向上

福岡県民会議について本会議の一般質問や、予算特別委員会の場で教育体制の改革を推進すると共に日本人としての歴史観・世界観・人生観を正しく教育しなければならぬと主張してまいりました。その結果、梶山先生(元九

大学長)を座長として県民会議が立ち上がり活発な活動を行っています。従来理論のみだったものが学校現場で具体的な展開を見せ始め一歩一歩ではあります改革に向かって進んでいます。

○ サポート校支援

教育において落ちこぼれや不登校の子供達を見過すことはできません。この問題に取り組んでおられる方々のご苦労と努力は並大抵ではありません。しつかり見守り支援してまいります。

▲ 地方分権特別委員会 ▼

県議会主催にて十月二日に地方分権セミナーを開催、道州制九州プランの説明を行いました。

行政及び議会の関係者五百五十名もの参

加者を迎え、関心の深さをうかがうことができました。

今後、啓蒙活動を積極的に実施し道州制の実現に向かって進んでまいります。